

2022年度 和歌山市立東中学校 スクールプラン(学校運営計画書)

校長名 中山 眞弘

作成日 2022年 5月 1日

和歌山市学校教育指針 (重点課題)

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の推進
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子供の安全確保の徹底
- 地域と共にある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- 子供の学力を定着させてほしい
- 明るく楽しい学校にしてほしい
- 思いやりのある子供を育ててほしい
- たくましい子供を育ててほしい

【学 校 教 育 目 標】

自ら考え思いやりのある個性豊かな
たくましい生徒の育成

【めざす生徒像】

- ・向学心のある生徒
- ・個性豊かな生徒
- ・たくましい生徒
- ・思いやりのある生徒

前年度の学校評価

- 落ち着いた授業態度で、タブレットPCの活用も工夫されている
- あいさつの指標が下がっているため、今後も取組を徹底されたい
- HPが充実しているため、地域との連携を一層深めてほしい

生徒の実態

- 落ち着いた真面目な授業態度で臨んでおり、学力向上につながっている
- 主体的に考え行動できる生徒が少ない
- 読書習慣があまり身につけていない

重点目標

確かな学力の向上

- ◎基礎・基本の確かな定着
- ◎主体的な学びの形成
- 家庭学習の定着

豊かな心の育成

- ◎道徳・人権教育の充実
- ◎いじめの未然防止、早期発見
- 仲間づくりの実施

健やかな体の育成

- ◎体力向上の推進
- ◎基本的生活習慣の確立
- 危機回避能力の育成

地域とともにある学校

- ◎家庭・地域との連携
- ◎小学校等との連携協力
- 外部資源の活用

◎：特に重点的に取り組むこと

具体的な取組

- 「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」を大切に授業を行う
- 「学び合い」を取り入れタブレットPCを積極的に活用した授業改善を行う
- 家庭学習の習慣を身につけさせるため、宿題の取り組みを進める
- 子供の多様性に着目し、特別支援教育の目線に立った教育を行う
- 定期的に放課後補習等を実施する
- 朝読書を定期的に行うなど、読書活動の推進を図る

- 道徳授業を充実することで道徳的実践力を養う
- いじめアンケートや教育相談を年間に複数回実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める
- 情報モラルやネット社会に潜む危険性について学ぶ機会をもつ
- 人権・同和教育に組織的に取り組む
- 部活動を工夫し、自己有用感、所属感、連帯感の高揚に取り組む

- 全国体力・運動能力調査の結果を踏まえ体力の向上を図る
- 体育や体育行事、部活動等を通して、体力、健康の増進に取り組む
- 「早寝、早起き、朝ご飯」を推奨する
- 昼食指導や保健だよりを通して食育に取り組む
- 日々の安全指導や避難訓練、交通安全教室を計画的に行うことで、危機回避能力を育成する

- 各種便り、HP等を通して積極的に学校の情報発信に努める
- 地域の各種団体と連携を図り子供に関わる情報交換を行う
- 校区内の学校との連携を推進・充実する
- ゲストティーチャー、部活動指導員、学生ボランティア等の活用を図る

指標

- ・県学習到達度調査や全国学力学習状況調査で全教科の正答数が県平均を上回る
- ・授業が楽しくわかりやすい(生徒肯定的回答85%以上)

- ・学校が楽しい(生徒肯定的回答95%以上)
- ・みんな、気持ちの良い挨拶をしている(生徒肯定的回答85%以上)
- ・教育相談の毎学期実施
- ・いじめの解消率100%

- ・規則正しい生活をし、遅刻ゼロを目指す
- ・全国体力・運動能力調査で全国平均を上回る

- ・子供の活動の様子を分かりやすく伝えている(保護肯定的回答80%以上)
- ・校区の小学校と定期的に情報交換を行う